

2012 佐渡国際トライアスロン参戦記

～灼熱の佐渡は素晴らしかった！～

宿院 雅広

3年ぶり2回目のロングに挑戦です。

前回出場の五島アイアンマンは6月開催だったため、気温もそんなに高くなく終始いい条件のもとでレースができました。と言ってもロングの練習も経験も未熟だったため、ふらふらでフィニッシュ。順位は完走者826人中327位とほろ苦いデビューになりました。

さあ3年たって進歩があるか！ともかく、どうせロングに出るのなら、一番暑いときにある日本で一番長い距離の佐渡に挑戦しようということで、3月に申し込んでみると、何と定員の約3倍の難関に。京都マラソンで抽選漏れになったおかげか、今度はこちらに運が向いて4月19日に当選の一報が届きました。よし5か月後頑張るぞ！と心に誓うも、結局は満足なロング対策もしないままレースに突入。さて結末やいかに…



8月31日(金)の朝6時に宿院号で京都を出発。同乗者は、喜田さん、大河内さん、山本彩さん。みんなで行く道中も楽しいもので、11時の直江津着はあっという間という感じでした。

その後、13時40分のフェリーに揺られて約3時間。海も空もきらきら輝き、レースに行くというよりは佐渡へ遊びに行くという感じで、ゆったりとしたいい時間が過ごせました。小木港からは車に乗ること40分で佐和田の受付会場に到着し、受付を済ませた後はしばしブースで物色。もう1日のんびりできると思うとかなり気持ちに余裕が持てました。で、あまりにもリラックスしすぎて夕食時にかなりビールが進んでしまったのは、あとから思い返すとちょっと反省ってところです。



翌9月1日(土)は、レースを想定して朝6時からスイム。水温も波も穏やかながら、ただ1つ難点が…。それはクラゲ。クラゲ除けクリームも効かず、右目の横にきついのを1発くらって頭がぐらつきました。明日泳ぐの嫌だな～。その後、午前中にバイクを組み立て、お昼はお寿司で有名な長浜荘へ10kmバイクライド。ここで松田知之さん、森拓哉さん含めてKTCのメンバー6人が揃いました。海の幸を頬張りながら明日の完走を誓います。やるぞー！おー！（とは言わなかったけど…）夜は8時に消灯して、翌朝3時に起床です。

そしていよいよレース当日の9月2日(日)。予報は終日快晴。気温は34度まで上がるとのこと。関東地方のテレビでは「今日はスポーツを控えましょう。」とのアナウンスがあったとか。でもそんなの関係ねー！とばかりに朝6時に号砲！750人の強者たちが一斉にスタートしました。目指すは、スイム3.8km、バイク190km、ラン42.195kmの先にあるフィニッシュゲートのみです。さて、KTCの6選手は無事完走できるか！

では、詳細なレポートです。

スイムは、佐和田海水浴場の砂浜からスタートして、沖の△ブイ2つを回って戻るコースを2周回します。最短距離をと左手に向かうと何と前述の4人が偶然にも同じ場所に。十数時間後フィニッシュゲートでの再会を誓い、固い握手でお互いの健闘を祈ります。

さあ、スタート！でも遠浅のため100mは歩きます。ようやく深くなってきたところで泳ぎだすも、いきなりクラゲパンチを食らい卒倒しそうになりました。さすがに一斉スタートなので、いつまでたってもバトルがあり、満足に泳げません。折り返してからは、波と潮の流れがあり、太陽がまぶしく目標がよくわかりません。1周目38分、2周目44分かかってスイムアップは1時間22分41秒で160位。予定より10分近く時間がかかってしまいました。

続いてバイク。190km走ったのはもう1年も前のこと。でも、攻めなければ何とか走り切れるだろうと気楽にスタートしました。10km、20km、30kmと順調に距離を積んでいきます。平地が多いためか、スピードに乗って快適に飛ばせます。60km地点の噂のZ坂も、景色に見とれて苦も無く超えられるくらいの快適ロードに思えます。

「なんて美しい！」

「いやー、ここめっちゃきれい！」

「おー、ここすげー！」

とその後に見える絶景に叫び声をあげます。

「よっしゃー、来年も絶対出るぞー」

とランの最中には口にも出せないことを口走っていました。それくらい素晴らしい景色が続きました。

小佐渡の東側にコースが変わってもきれいな景色が続きます。海岸まで山の斜面が迫る狭いコースをひた



すら南下します。前方左のはるか彼方に大佐渡の東端がかすかに見えます。

「何十 km 先なんだろう？」

海面が太陽の光を反射してきらきら輝いています。道路沿いの樹木の木漏れ日の中をロードバイクが疾走します。70km 地点から約 20km は、前にも後ろにも誰もいない区間がありました。30 分ほど道路を独り占めしたような気持ちになり、

「これ最高に幸せ～」

とたまたまや来年に頭が飛びました。

100km を過ぎても順調に飛ばし、150km 付近では追い風を受けて 40km/h オーバーで巡航です。最後の上りの小木坂も無難に越え、楽しかったバイクは余力を残したつもりで終了。6 時間 28 分 55 秒で 71 位。



さあ、最後はフルマラソン。

キロ 6 分で走れば 4 時間で完走だ！とばかりに走り出すも体がだるい。足が重いのではなく、体が重くて動かない。バイクで余力を残したはずなのに、実は余力は残っていなかったのか？ 知らず知らずのうちにオーバーペースになっていたのだろうか？ 後ろからどんどん抜かれていく。抜いた選手があっという間に見えなくなる。それでも走る！ 絶対完走する！ 歩かない！ と自分に言い聞かせてひたすらエイドを目指す。

10km 地点で軽く 1 時間を超え、その後 2 回エイドでひっくり返って休憩をする。

ハーフで 2 時間 35 分。暑い。苦しい。頭から水をかぶる。靴の中ぐちゅぐちゅ。水ぶくれできた。親指の爪はがれそう。歩きたい。でも歩かない。誰も歩いている人いない。みんなすごい。沿道からの声援がうれしい。でもありがたうと言えない。声が出ない。頭だけは下げよう。100 人くらい抜かれたかな？

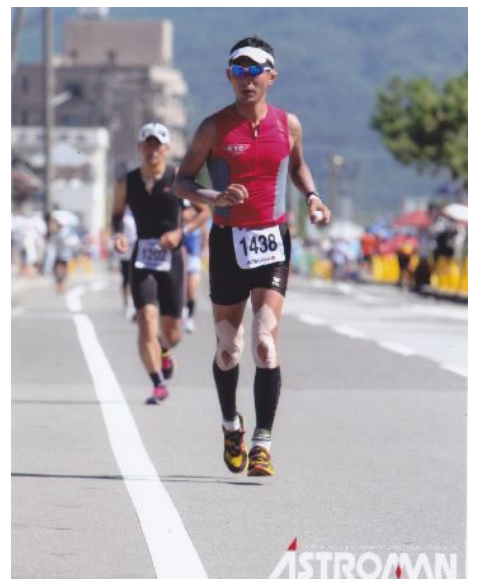
あと 10km だ。でもまだ 10km もある。だんだん暗くなってきた。夕焼けがきれいだなあ。もう真っ暗だ。こんなに暗くても応援してくれる人がいるんだ。灯籠がきれいだなあ。

あと 5km。もうちょっとだ。商店街の明かりが見えてきたぞ。たくさん人がいるぞ。お帰りをさいだって、うう、うれしい（涙）。よし手を出してくれている人全員とハイタッチしよう。もう何人抜かされても気にしないぞ。

あと 100m。すごい声援だ。みんなハイタッチしてくれる。ありがとう！ ありがとう！ ありがとう！

そしてゆっくりゆっくりフィニッシュ！ 5 時間 47 分 30 秒。トータル 13 時間 39 分 6 秒で 248 位。

抜かれも抜かれ 180 人に抜かれてしまいました。



フィニッシュゲートをくぐったあとは、動けなくてしばらく芝生に寝転がっていました。
「マッチがゴールしたぞ」と誰かが言っています。
「へー、やるやん、一緒に手をつないでゴールすれば良かったなあ」なんて考えました。

一足先にフィニッシュしたモリタク氏と健闘を称えあった後、これからフィニッシュするであろう仲間を迎え入れようと思いつつも、あまりのしんどさに一旦宿に帰りました。その直後、目が回り始め、吐き気をもよおし、冷や汗が出てきてそのままダウン。

みんなが戻ってきてびっくりしています。そこでようやく熱中症にかかっていることがわかりました。頭と体を冷やしてくれたり、飲み物を準備してくれたりしてようやく夜中に症状がおさまりました。今から考えると、やっぱりバイクで無理をしていたのかもしれない。水分も十分に取れていなかったのかもしれない。大きな反省です。

喜田さん、大河内さん、彩さん、ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。そして、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

翌9月3日(月)は、興奮冷めやらぬもので、みんな朝5時過ぎには起きて帰る準備をしました。朝ごはんを食べて小木港へ出発するときにもものすごい雷と雨。これが昨日でなくてよかったとほっと胸をなでおろしました。

10時20分のフェリーで直江津へ向かい、お昼は銭形で味噌カツ定食を食べ、一路京都へ。
こうして午後8時、無事全員帰宅して佐渡へのトライアスロンの旅が終わりました。

最後に、
HP上で応援していただいた皆さん、
沿道で声援を送っていただいた地元の皆さん、
大会を運営していただいたスタッフ、ボランティアの皆さん、
名もない私設エイドのおじさん、おばさん
ともに励まし合ったチームメイトの皆さん、
ありがとうございました。
そしてKTCメンバー全員完走おめでとうございます。

佐渡国際トライアスロンは、噂どおり、いや噂以上の素晴らしい大会でした。
また来年も必ず参加します。
ただし、抽選に当たればですが^^;

今回久々のロングに出て相当苦しみました。それだけに毎年こんなレースに出ておられる皆様には、マジで、敬服いたします。

